

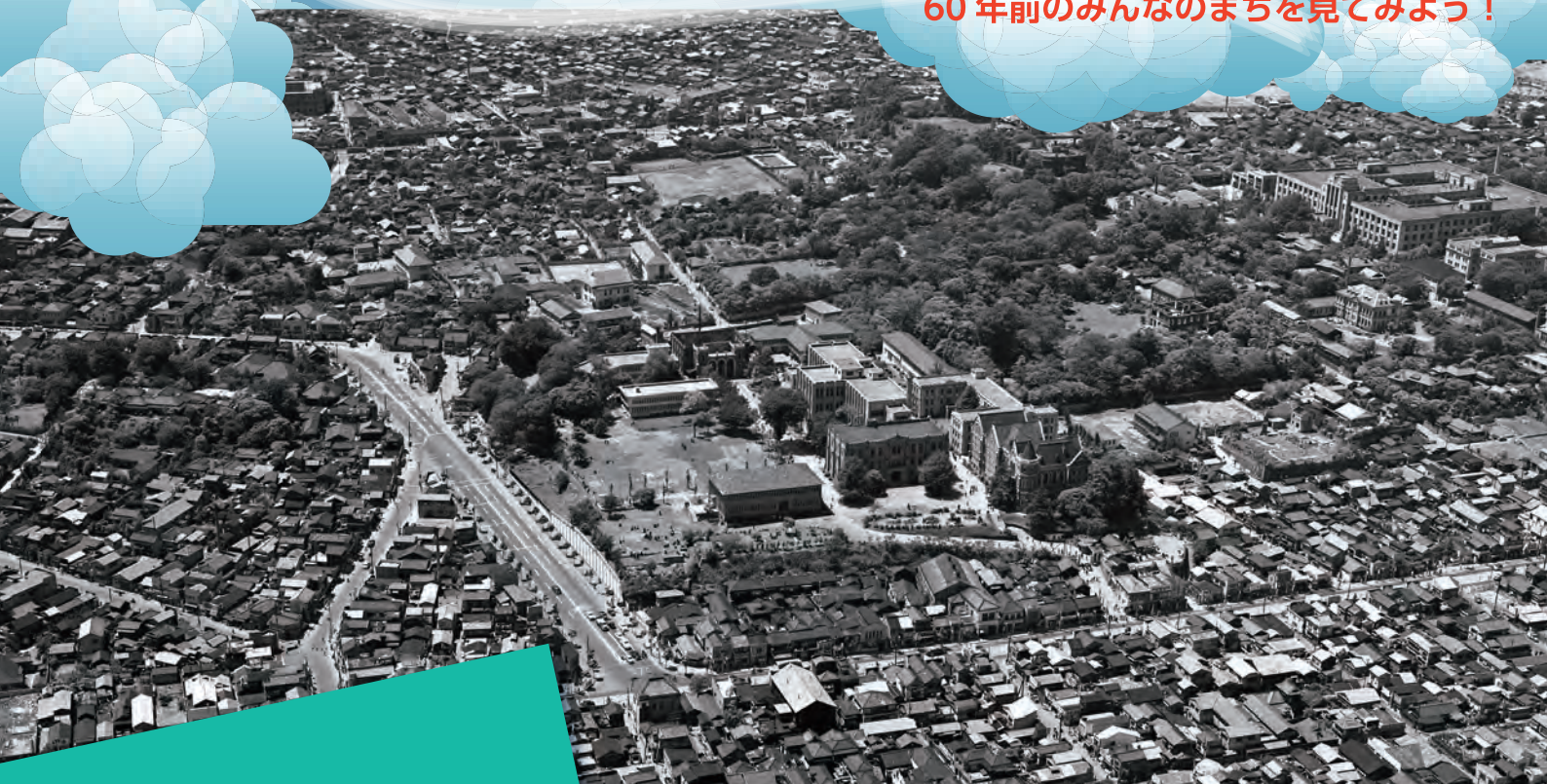
港区立郷土歴史館企画展



空から見た港区

～高度成長前のまちなみ～

60年前のみんなのまちを見てみよう！



港区三田在住の^{すいよう}写真家、佐藤翠陽氏がセスナ機から撮影した航空写真を展示します。東京タワーや高速道路建設前、東京オリンピック開催前の港区のまちなみを空からご覧いただけます。



令和元(2019)年

6月1日(土)～6月30日(日)

● 開館時間：午前9時～午後5時(土曜日のみ午前9時～午後8時)

※常設展示室および特別展示室の入館受付は、閉館の30分前まで。

● 休館日：6月20日(木)

● 企画展観覧料：大人200円(160円) 小・中・高校生100円(80円)

※常設展と同時に購入する場合、常設展と企画展とのセット料金は大人400円(320円)、小・中・高校生100円(80円)となります。※()内は10名以上の団体料金です。※区内在住・在学の小・中・高校生、区内在住の65歳以上の方、区内在住の障害者とその介助者(1名)の観覧料は無料となります(証明ができるものをご持参ください)。

上/慶應義塾大学周辺：昭和31(1956)年 左下/港区役所周辺：昭和32(1957)年 右下/台場周辺：昭和30(1955)年頃



MINATO CITY LOCAL HISTORY MUSEUM **港区立郷土歴史館**
〒108-0071 港区白金台4-6-2 ゆかしの社内



■ 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台」駅下車2番出口徒歩1分
■ 都営バス「白金台駅前」停留所下車徒歩1分
※来館者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

空から見ろ港区

～高度成長前のまちなみ～

本展では今からおよそ60年前、昭和30(1955)年前後の航空写真を展示しています。昭和20(1945)年の終戦から10年が経ち、戦争の傷跡も薄れ、東京オリンピック開催を9年後に控え、まちなみが大きく変わる直前の様子をご覧ください。

高層建築が無かった時代に、現代の高層ビルや東京タワーの展望台くらいの高さから撮影されたこれらの写真は大変に貴重で、建物だけでなく、道行く自動車や都電の姿も確認できます。いずれも佐藤翠陽氏がセスナ機から撮影したものです。



明治神宮外苑：昭和29(1954)年



国会図書館(現・赤坂迎賓館)：昭和29(1954)年



青山霊園周辺：昭和29(1954)年



一の橋、三田小山町(現・三田一丁目)周辺：昭和30(1955)年



すいよう
写真家 佐藤翠陽

明治35(1902)年、北海道札幌市生まれ。

昭和14(1939)年、札幌市にS K写真工房を設立。戦時中は北海道大学医学部の嘱託写真技師、戦後は進駐軍関係の写真業務を行っていました。昭和28(1953)年、上京して港区芝三田小山町に住まいを構え、その後翠光社すいこうを設立。正確な写真技術が評価され、建築写真の分野で活躍。霞が関ビルディング、世界貿易センタービル、サンシャイン60など高層の建築写真を中心に航空写真を撮り続けます。その一方で、住まいのある港区三田を中心に、変わりゆく昭和時代の東京の姿をセスナ機から撮影しました。昭和56(1981)年没、享年79歳。

